

第4単元 小数のかけ算①

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	40 (各5)	① 78.2 ② 30.42 ③ 236.88 ④ 557.05 ⑤ 35.56 ⑥ 3.087 ⑦ 0.1998 ⑧ 1.4	知技 小数の乗法の筆算ができる。	積の小数点の位置に注意をさせる。なぜ、その位置になるのかを形式的に理解させるのではなく、原理に基づいて理解させるようにする。
②	10	イ、ウ (完答、順不同)	知技 積と乗数の大小関係を理解している。	積と乗数の関係を、数直線図を活用するなどしてつかませ、「積はかけられる数より大きくなる」という思いこみを修正する。
③	10 (各5)	① 13.3 ② 76 (途中式は略)	知技 計算のきまりを用いて、小数の計算を工夫できる。	計算のきまりを用いて計算すれば、複雑な計算ではなくなり、簡単に計算できることに気づかせる。
④	10 (各5)	式 $90 \times 4.5 = 405$ 答 405円	知技 場面に応じた立式ができる。問題を解決することができる。	立式ができなかった児童には、整数の場合に帰着したり、数直線図を活用したりするなどして、どのような式になるかを考えさせるとよい。また、計算が正しくできなかった児童には、小数点の位置に気をつけることをおさえる。
⑤	10 (各5)	式 $8.4 \times 3.5 = 29.4$ 答 $29.4\text{m}^2$		
⑥	0.96倍 20 (各5)	式 $52.5 \times 0.96 = 50.4$ 答 50.4kg		
	1.14倍	式 $52.5 \times 1.14 = 59.85$ 答 59.85kg		

第4単元 小数のかけ算②

問題番号	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① $60 \times 2.4$ ( $60 \times 2.4 = 144$ ) ② (例) ・代金は長さに比例し、長さが2.4倍になれば、代金も2.4倍になるから。 ・整数のときと同じように、代金は、1mのねだん×買った長さで求められるから。	思判表 立式の根拠を数直線図やことばの式を用いて説明している。	1mのねだんが60円のリボンを2m買ったときの代金は、 $60 \times 2$ と表せる。同じように、2.4m買ったときの代金は、リボンの長さが2.4倍になっているから代金も2.4倍になるということを理解できるようにする。
②	① 100 ② 10 ③ 1000 ④ 1000 ⑤ 1000 ⑥ 15.846	思判表 被乗数、乗数が小数のときの乗法の計算のしかたを筋道をたてて説明している。	小数を10倍、100倍して整数×整数の計算として考えることができる。その積も10倍、100倍になっていることから、積を $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ にすることを忘れないようにする。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	8～6問	5～4問	3～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。